



# 渋谷区立中学校の特色の見直しについて

～すべての子どもが“学びたい”と思える中学校へ～

2026年4月

1

特色見直しの  
考え方

なぜ特色を見直すのか  
どんな中学校を目指すのか

## 「未来の学校」に向けた取組

### 現状と課題

- ・ 令和6年2月改訂の渋谷区教育大綱では、「つくろう。ちがいを活かし合える、未来の学校」を掲げ、子供たち、先生たち、地域の人たちが、未来の学校を一緒に創り上げることとしている
- ・ 現在の区立中学校は、学校選択制の下で特色を設定している
- ・ 近年、ICT教育、探究学習、部活動改革の推進、学校の建替えなど区の教育は大きく変化しているが、各校の特色はそれに合わせた見直しは行われてこなかった
- ・ 区立中学校への進学割合は近年ゆるやかに低下するなど、現状では全ての子供たちにとって最もふさわしい選択肢とは必ずしも認識されていない

## 区立中学校の特色の見直し

### 方針

- ・区立中学校はすべての区民のための学校であることから、一人ひとり違う多様な全ての子供たちにとって、最もふさわしい選択肢となることを目指す
- ・まずは、どの中学校にも最先端で充実した教育内容・環境を共通の基盤として整備する
- ・その上で、各校の特色を見直し、多様な子供たちが一人ひとりが学びたいと思える環境を準備できるよう、それぞれの学校が特色に基づいて多様な教育を提供する
- ・各校の特色は、「**主体的に未来をつくる力**」を育むことを目指したものとする

2

特色の内容

各校が伸ばす“4つの特色”とは

## 今後の方向性

主体的に未来をつくる力

アントレプレナー  
シップ

サイエンス・  
テクノロジー

グローバル  
コミュニケーション

アート・デザイン

ICT教育 英語 探究 地域クラブ活動  
学校横断の学び 大学・アカデミアとの連携

生徒主体・インクルーシブ

4つの特色

- 全8校共通の強みから発展させた内容
- いずれの特色においても「**主体的に未来をつくる力**」を育むことを目指す

全8校共通

## アントレプレナーシップ

身近な社会課題に気づき、自ら考え、挑戦し、行動する力を育てます。

## サイエンス・テクノロジー

最先端テクノロジーも活用しながら、科学的・論理的に物事を捉えて思考する力を育てます。

### 4つの特色

～それぞれのアプローチで新しい価値をつくる活動を通じて、子ども一人ひとりが「主体的に未来をつくる力」を育む～

## グローバルコミュニケーション

多様な文化や価値観をもつ人と対話し、互いに理解し合いながら協働する力を育てます。

## アート・デザイン

表現や創造の活動を通して、自分や他者の思いを形にする力を育てます。

3

各校の特色

学校ごとに、強みをさらに伸ばします  
どの学校も共通の教育基盤を備えたう  
えで、特色を深めます

## 各校の特色

★渋谷本町中

アート・デザイン

★原宿外苑中

アントレプレ  
ナーシップ

★代々木中

サイエンス・  
テクノロジー

★広尾中

アントレプレ  
ナーシップ

★笹塚中

グローバル・  
コミュニケーション

★上原中

アート・デザイン

★松濤中

グローバル・  
コミュニケーション

★鉢山中

サイエンス・  
テクノロジー

※各校の特色は、これまでの取組や地域性を踏まえて設定しています。

※各校では国の学習指導要領に基づく教育を行い、その中で特色に基づいた教育活動を実施していきます。

4

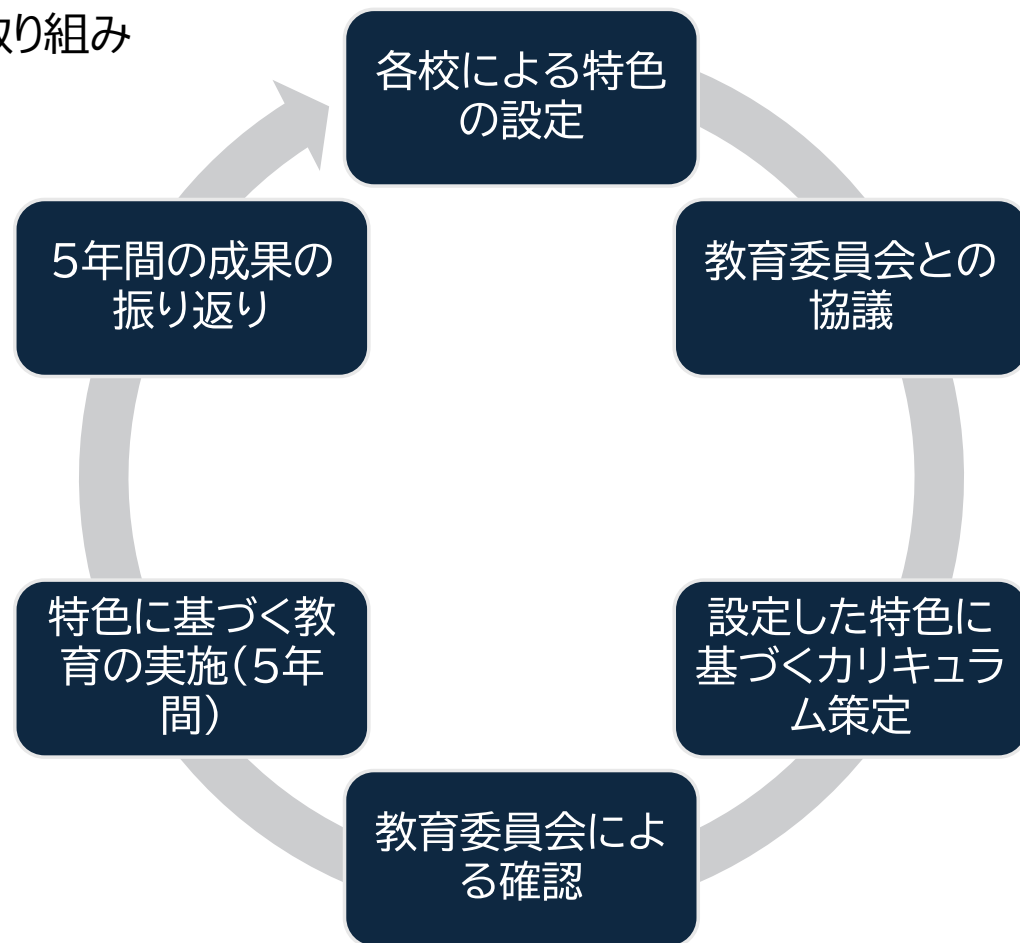
推進の仕組み

どうやって、確実に進めていくのか

# 特色を継続・見直しする仕組み

頻繁に変えるのではなく、一定期間かけて腰を据えて取り組みます。

- 各校が設定した特色及びそれに基づくカリキュラムは、令和9年度からスタートし、継続性の観点から、生徒が安心して学び続けられる期間（5年間）実施するものとする。
- 各校の特色やそれに基づくカリキュラムについては、5年ごとに成果を振り返り、よりよい形に更新する。
- 各校の特色は5年ごとに毎回異なるものとする必要はなく、それまでの特色を継続することも可能とする。



## 学校の中に、特色を進める専門チームをつくれます

- 各中学校では、学年や教科の枠をこえて学校全体の学びを考える「特色を進める専門チーム」をつくる。
- このチームが中心となり、探究学習をはじめとした特色ある学びを計画・調整し、学校全体で取り組んでいく。
- 活動の拠点となる専用の場所を設け、「チーム」「場」「プログラム」を一体として進めることで、特色ある学びが継続して行われる体制を整える。

※専門チームには、校内の教員に加え、外部の専門人材が関わることもあります。

### 【新組織】

- ・新組織の長（カリキュラム・コーディネーター、アドバイザー）
  - ・教務主任・探究担当
- ・特色推進のための外部人材



第1学年

第2学年

第3学年

国  
語

数  
学

英  
語

理  
科

社  
会

体  
育

音  
楽

美  
術

技  
・  
家

# 特色に基づくカリキュラムの再編成 (リデザイン)

これまでの良さを生かしながら、学びをつなげます

- 各中学校では、新たに設定した特色に基づいて、学校全体の学びを見直す。これまで積み重ねてきた教育活動の良い点は生かしながら、学年や教科をこえて、学びのつながりを大切にしたりカリキュラムを編成する。
- 探究学習は、その中心となる取組として位置付け、特色に合わせた内容で実施。また、探究学習以外の授業や学校行事においても、3年間を通して目指す姿を共有し、それぞれの教科で特色を生かした学びを進めていく。



# 検討経過

参考資料

## 【総合教育会議による議論：2回】

- ◆ 区長、教育長、教育委員
- ◆ 令和6年11月12日・令和7年2月13日

## 【教育委員との意見交換：4回】

- ◆ 令和6年11月21日、12月19日、令和7年9月4日、12月4日

## 【有識者意見交換：8回】

- ◆ 教育長、教育指導課長、民間事業者
- ◆ 令和7年1月30日～3月19日の内、7日間

## 【中学校長会ワークショップ】

- ◆ 令和7年7月15日：タクトピア株式会社

## 【区立中学校特色推進会議：5回】

- ◆ 構成員：教育長、教育委員、各中学校長、小学校長会長、中学校PTA連合会長
- ◆ 令和7年8月7日、9月29日、12月24日、令和8年2月10日、3月3日

## 【各校ワーキング：各校による任意の回数】

- ◆ 構成員：校長、教職員、生徒会、地域・保護者等（学校運営協議会）